



## インストールの前提条件

この章は、次の項で構成されています。

- [サポートされるプラットフォーム, 1 ページ](#)
- [サポートされる Web ブラウザ, 2 ページ](#)
- [必須のポート, 2 ページ](#)
- [システム要件, 5 ページ](#)
- [Cisco UCS Central をインストールするための重要な前提条件, 8 ページ](#)

## サポートされるプラットフォーム

次の表に、Cisco UCS Central のインストール用にサポートされるプラットフォームを示します。

ハイパーバイザ	サポートされるバージョン
Microsoft Hyper-V	Windows 2008 R2 SP1 Windows 2012 Microsoft Hyper-V Server 2012 R2
VMware ESX	<ul style="list-style-type: none"><li>• ESX 5.0 U3</li><li>• ESX 5.1</li><li>• ESX 5.5</li><li>• ESX 6.0</li></ul>
KVM Hypervisor	Red Hat Enterprise Linux 6.5 の KVM ハイパーバイザ

## サポートされる Web ブラウザ

Cisco UCS Central GUI でサポートされる Web ブラウザは、Cisco UCS Central GUI を実行するコンピュータのオペレーティングシステムによって異なります。

オペレーティング システム	サポートされる Web ブラウザ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Internet Explorer 10 以上</li> <li>• Firefox 29 以降</li> <li>• Chrome 34 以降</li> </ul> <p>(注) Flash ベースの UI を使用する場合、Adobe Flash Player 11.7 以降をインストールする必要があります。</p>
Mac OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Firefox 29 以降</li> <li>• Chrome 34 以降</li> <li>• Safari 6 以降</li> </ul> <p>(注) Flash ベースの UI を使用する場合、Adobe Flash Player 11.7 以降をインストールする必要があります。</p> <p>Chrome ブラウザでは、バンドルされた Flash プレーヤーを削除してから Adobe Flash プレーヤーをインストールします。</p>
Linux RHEL	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Firefox 29 以降</li> <li>• Chrome 34 以降</li> </ul> <p>(注) Flash ベースの UI を使用する場合、Adobe Flash Player 11.7 以降をインストールする必要があります。</p>

## 必須のポート

Cisco UCS Manager は、ソースの宛先として FI (FI-A または FI-B IP アドレス) の個々の IP アドレスを使用して、Cisco UCS Central と通信します。Cisco UCS Central は、宛先アドレスとして VIP を使用して Cisco UCS Manager と通信します。

### Cisco UCS Central と Cisco UCS ドメイン間の通信

通常、既存のすべての Cisco UCS 管理ドメインの IP アドレスは、共通の管理ネットワーク上にあります。それ以外の場合、Cisco UCS Central からすべての下位管理ドメインへのルーティングアクセスが確立されれば、Cisco UCS Central は機能します。このため、ファイアウォール、プロキシ、および他のセキュリティシステムで、Cisco UCS Central と登録されたすべての Cisco UCS ドメインの間の連続的な通信を可能にするため、次のポート上で読み取り/書き込みアクセスを許可するように設定されている必要があります。

次の表にリストされているポートは、Cisco UCS Central 上で開く必要があります。これらのポートには、UCS ドメインからアクセスします。



(注) 使用するバージョンと UI によっては、必要のないポートもあります。たとえば、Cisco UCS Manager リリース 2.2(2) 以降では NFS ポートは必要ありません。

表 1: Cisco UCS Manager リリース バージョン 2.1(x) と 2.2(1) 以前にはポートが必要です。

ポート番号	Daemon	プロトコル	使用法
32803	LOCKD_TCPPOINT	TCP および UDP	Linux NFS ロック
892	MOUNTD_PORT	TCP および UDP	Linux NFS マウント
875	RQUOTAD_PORT	TCP および UDP	Linux リモート クォータ サーバ ポート (NFS)
32805	STATD_PORT	TCP および UDP	NFS ファイル ロック サービスで 使用される Linux ロック リカバリ
2049	NFS_PORT (注)	TCP および UDP	Linux NFS リスニング ポート
111	SUNRPC	TCP および UDP	Linux RCPBIND リスニング ポート (NFS)
443	HTTPS_PORT	TCP および UDP	Cisco UCS Central および Cisco UCS ドメインと UCS Central GUI との ファイアウォール経由の通信をイ ネーブルにします。

ポート番号	Daemon	プロトコル	使用法
80	HTTP	TCP	Flash UI を使用した Cisco UCS Central と UCS ドメインとの通信。 このポートは、Cisco UCS Central CLI を使用して設定できます。  (注) Cisco UCS Manager HTML5 UI を使用する場 合、このポートは必要 ありません。
843	PRIVATE_PORT	TCP および UDP	Flash UI と UCS Central VM との UCS Central 通信  (注) Cisco UCS Manager HTML5 UI を使用する場 合、このポートは必要 ありません。

表 2: UCS Mini、Cisco UCS Manager 3.0(1)、または 3.0(2) など、Cisco UCS Manager リリース バージョン 2.2(2) 以降に必要なポート。

ポート番号	Daemon	プロトコル	使用法
443	HTTPS_PORT	TCP および UDP	Cisco UCS Central および Cisco UCS ドメインと UCS Central GUI との 通信をイネーブルにします。
80	HTTP	TCP	Flash UI を使用した Cisco UCS Central と UCS ドメインとの通信。 このポートは、Cisco UCS Central CLI を使用して設定できます。  (注) Cisco UCS Manager HTML5 UI を使用する場 合、このポートは必要 ありません。
843	PRIVATE_PORT	TCP および UDP	Flash UI と UCS Central VM との UCS Central 通信  (注) Cisco UCS Manager HTML5 UI を使用する場 合、このポートは必要 ありません。

### Cisco UCS Central とクライアント ブラウザ間の通信

次のポートが Cisco UCS Manager 上で開いている必要があります。Cisco UCS Central とクライアント ブラウザ間での通信をイネーブルにするためには、Cisco UCS Central から次のポートにアクセスします。

ポート番号	Daemon	プロトコル	使用法
443	HTTPS_PORT	TCP	Cisco UCS Central と UCS ドメインとの通信をイネーブルにします。このポートは常に必要です。
80	HTTP	TCP	Flash UI を使用した Cisco UCS Central と UCS ドメインとの通信。このポートは、Cisco UCS Central CLI を使用して設定できます。  (注) Cisco UCS Manager HTML5 UI を使用する場合、このポートは必要ありません。

### AD サーバ通信

LDAP ポート 389 は、AD サーバ上で開いている必要があります。このポートは、MS AD LDAP 連携および通信のために Cisco UCS Central からアクセスします。



(注) Cisco UCS Central は、LDAP over SSL/TLS をサポートするために STARTTLS を使用します。ポート 389 が必要な唯一のポートです。

## システム要件

### スタンドアロンインストール

スタンドアロンモードで Cisco UCS Central をインストールする場合は、次のシステム要件を満たしていることを確認します。

### サーバタイプ

Cisco UCS Manager に管理されないまたは Cisco UCS ドメインに統合されないスタンドアロンラックサーバで実行される VMware または Hyper-V hypervisor 上に、Cisco UCS Central を配置することを推奨します。サーバは、可能であれば高速のストレージアレイからプロビジョニングされる、高速なデータストアである必要があります。

## サーバ要件

以下の表に、次のプラットフォームでの Cisco UCS Central のインストールの最小要件を示します。

- ESX
- Hyper-V
- KVM Hypervisor

項目	EXS、Hyper-V、および KVM ハイパーバイザの最小要件
ディスク 1	40 GB
ディスク 2	40 GB
RAM	12 GB 大規模用 32 GB
vCPU コア	4 コア
ディスク読み取り速度	75 Mbps 以上 125 MBps 以上が推奨される速度です。



(注)

- さらに多くのサーバ（たとえば、500 ドメイン/10000 サーバ）を管理する場合は、RAM を 32 GB 以上に増やしてください。
- Cisco UCS Central のパフォーマンスは、vCPU、RAM またはディスク速度の最小要件を満たしていないサーバで導入する場合は保証されません。
- VM の設定を変更する前に、電源をオフにしてください。
- クラスタセットアップに NFS を使用する場合、適切なシステムパフォーマンスを確保するため、ネットワーク遅延が 0.5 ms 未満となるようにします。

サーバのディスク読み込み速度が Cisco UCS Central の展開中に最低限必要な速度を下回る場合、インストーラが警告メッセージを表示しますが、展開を完了できます。ただし、ディスク読み込み速度が動作時に最低限必要な速度を下回る場合、ディスク読み込み速度の遅さに応じて、次の表に示す障害が Cisco UCS Central で発生します。

サーバのディスク読み込み速度	障害レベル
75 Mbps 以下	致命的な障害
75 ~ 100 Mbps	重大な障害
100 ~ 125 Mbps	マイナーな障害

サーバのディスク読み込み速度	障害レベル
125 Mbps 以上	該当なし

### サポートされるデータベースサーバ

次の統計情報収集用データベースサーバがサポートされています。

- Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.1.0 64 ビット製品以降
- PostgreSQL Server 9.1.8 64 ビット以降
- Microsoft SQL Server 2012 (SP1) - 11.0.3000.0 (X64) 以降
- Microsoft SQL Server 2008 R2 10.50.1600.1 (X64) SP1 以降

統計情報データが外部データベースサーバに保存されている場合、データベースサーバのディスク容量要件として次の参照データを考慮してください。

- 20 個の Cisco UCS ドメインを登録すると、1 年間統計データを保存するために必要な最小限のストレージ容量は 400 GB です。
- 100 個の Cisco UCS ドメインを登録すると、1 年間統計データを保存するために必要な最小限のストレージ容量は 2 TB です。

### クライアントシステム

クライアントシステムに必要な最小メモリは、4 GB です。ただし、40 以上登録された Cisco UCS ドメインがある場合、クライアントシステム上のメモリが少なくとも 8 GB あることを推奨します。

### クラスタのインストール

ハイアベイラビリティを有効にし、クラスタモードで Cisco UCS Central をインストールする場合、スタンドアロンインストール用に指定されたすべての要件および次の共有ストレージを満たす必要があります。

- ESX の最小要件 : 40 GB
- Hyper-V の最小要件 : 40 GB

### Windows の NFS 要件

Windows NFS を使用してクラスタモードで Cisco UCS Central をインストールする前に、Windows の変換ファイルを作成していることを確認します。



(注) 詳細については、「[How to Enable File Name Character Translation](#)」を参照してください。

### リモート ロケーションでの Cisco UCS ドメインの管理

リモートのブランチオフィスなどのリモート ロケーションでの Cisco UCS ドメインの管理には、以下が Cisco UCS ドメインと Cisco UCS Central 間のネットワーク接続のための最小要件になります。

- 帯域幅 - 1.5 Mbps 以上
- 遅延 - 500 ミリ秒（ラウンドトリップ）以下

## Cisco UCS Central をインストールするための重要な前提条件

Cisco UCS Central をインストールする前に、次の情報が必要です。

- Cisco UCS Central のスタティック IPv4 アドレス
- IPv4 ネットマスク
- デフォルト ゲートウェイ
- Cisco UCS Central 管理者アカウントに割り当てるパスワード。新しいパスワードを作成します。
- 仮想マシン（VM）のホスト名
- DNS サーバを使用する場合の DNS サーバの IPv4 アドレス
- DNS ドメインを使用する場合の Cisco UCS Central を追加する DNS ドメイン名
- 共有秘密。これは、Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメイン を登録するときに必要なパスワードです。
- 共有ストレージ。これは、スタンドアロンインストールのための任意選択で、クラスタのインストールに必要です。